

外郭団体評価調書【公益・一般法人用】

1. 基本情報

令和3年7月1日 現在

団体名	公益財団法人 新潟市海洋河川文化財団		
所在地	新潟市中央区西船見町5932番地445		
代表者(職・氏名) (所属・職)	代表理事 理事長	電話番号	025-222-7500
	高橋 道映	ホームページ	http://www.marinepia.or.jp/kaiyoukasen
市所管課	文化スポーツ部 文化政策課	電子メール	kanri@marinepia.or.jp
基本財産 (基本金)	10,000 千円	設立年月日	平成28年3月15日
出資者	氏名・団体等名称	出資等額	出資等比率
	新潟市	10,000 千円	100.0 %
		千円	%
		千円	%
		千円	%
		千円	%
設立目的	新潟市を中心とする海洋・河川文化（海、河川をはじめとする水辺環境とそこに生息する生物などの影響を受けて発展してきた、人々の暮らし、生活様式、価値観等）の現況把握、歴史的背景及び保護継承を通して、社会における海洋・河川文化の重要性・関係性を啓発し、もって新潟市の文化醸成に寄与するとともに、地域社会の持続的発展に寄与することを目的とする。		
経営理念 経営方針	【経営理念】 新潟市水族館条例に則り、「水族館は地域社会の持続的発展に不可欠な環境保全意識の啓発、醸成の場としての社会的基盤、即ち公共施設である」との理念のもと、水族館を「自然と人とを結ぶメディア」と位置づけ、設置者と市民の間における「水族館運営の専門家」として、また、市民と市民社会を繋ぐ「水生生物と環境に関する情報発信基地」として、運営を行う。 【経営方針】 ・水生生物と環境について正確な知識を普及する ・新鮮な感動と体験 ・自然保護、環境保全のきっかけづくり ・施設、設備への最善の対応をする		

2. 主要事業

事業名①	海洋・河川文化の普及啓発、調査研究及び保護継承事業						
事業概要	<p>(概要) 新潟における海洋・河川文化の現状や変遷を調査研究及び情報発信することにより、海洋・河川文化及び海洋・河川等、人との関わりの大切さを後世に継承し、併せて地域社会の持続的発展の担い手を育む。</p>						
	<p>(市政へどのように寄与・貢献するのか) 新潟の特色ある海洋・河川文化を再認識し、その魅力を市民に普及啓発する。また、海洋・河川文化の資源の保護保全を行うことにより、海洋・河川文化の伝承を図る。</p>						
事業区分	主体区分	収支区分	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(予算)
公益事業	-	収入額	千円	605,272	611,721	612,095	602,673
活動指標①	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
海洋・河川文化の普及啓発(体験学習)	R3	回	6				
	R2	回	6	1	新型コロナウイルス感染症拡大防止により一部中止したため		
	R1	回	6	6	計画通り		
	H30	回	5	5	計画通り		
活動指標②	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
海洋・河川文化の普及啓発(講演会)	R3	回	6				
	R2	回	0	0			
	R1	回	2	2	計画通り		
	H30	回	3	4	ほぼ計画通り		
活動指標③	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
海洋・河川文化の普及啓発(各種施設との連携)	R3	件	出張展示 3 学校教育連携 24 実習生受入 15				
	R2	件	出張展示 3 学校教育連携 24 実習生受入 15	出張展示 3 学校教育連携 21 実習生受入 0	新型コロナウイルス感染症拡大防止により一部中止したため		
	R1	件	未定	56	実習・体験学習など受け入れ業務が中心のため計画がたてられないため		
	H30	件	未定	55	実習・体験学習など受け入れ業務が中心のため計画がたてられないため		

活動指標④	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由
海洋・河川文化の 調査研究 (研究発表)	R3	件	4		
	R2	件	4	1	新型コロナウイルス感染症の影響による発表機会の減少
	R1	件	未定	7	年度によって異なるため
	H30	件	未定	11	年度によって異なるため
活動指標⑤	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由
海洋・河川文化の 調査研究 (各種会議)	R3	件	30		
	R2	件	30	22	新型コロナウイルス感染症拡大防止により一部中止したため
	R1	件	未定	39	年度によって異なるため
	H30	件	未定	30	年度によって異なるため
活動指標⑥	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由
海洋・河川文化の 調査研究 (共同研究)	R3	件	14		
	R2	件	12	14	新規の事業を行ったため増加
	R1	件	1	12	新規の事業を行ったため増加
	H30	件	1	1	計画通り

活動指標⑦	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由
海洋・河川文化の 保護保全 (生息域内保全)	R3	回	12		
	R2	回	11	17	生息調査を拡大
	R1	回	8	9	ほぼ計画通り
	H30	回	8	6	ほぼ計画通り
活動指標⑧	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由
海洋・河川文化の 保護保全 (連携調査)	R3	回	18		
	R2	回	6	3	調査依頼に応じて減少
	R1	回	6	3	調査依頼に応じて減少
	H30	回	8	4	調査依頼に応じて減少
活動指標⑨	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由
海洋・河川文化の 保護保全 (生物調査)	R3	回	未定		
	R2	回	未定	30	漂着生物は予測できないため計画できない
	R1	回	未定	23	漂着生物は予測できないため計画できない
	H30	回	未定	16	漂着生物は予測できないため計画できない

**所管課の関わり及び
主要事業にかかる評価**

評議会等を通じて情報共有を行った。昨年度は新型コロナウイルスの影響により機会の減少などがあったが、今後も引き続き調査・研究に努めて欲しい。

2. 主要事業

事業名②	海洋・河川に生息する水生生物とその生息環境の展示及び飼育事業						
事業概要	<p>(概要) 新潟の自然環境とそこに生息する水生生物の展示を基礎としながら、多種多様な環境の生物を展示し、各種体験型プログラムを実施することで、市民が海洋・河川や水生生物などに親しむ機会の充実などを図り、海洋・河川に関心を持つきっかけとなる機会を創出する。</p> <p>(市政へどのように寄与・貢献するのか) 水生生物や自然環境について分かりやすく展示し、併せて海洋・河川文化の普及啓発に努め、市民が気軽に楽しめる文化施設とする。</p>						
事業区分	主体区分	収支区分	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度（予算）
公益事業	-	収入額	千円	事業(1)を含む	事業(1)を含む	事業(1)を含む	事業(1)を含む
活動指標①	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
水生生物に関する知識の普及振興 (30周年記念事業)	R3	回	—				
	R2	回	22	13	新型コロナウイルス感染症拡大防止により一部中止したため		
	R1	回	—	—			
	H30	回	—	—			
活動指標②	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
水生生物に関する知識の普及振興 (いきもの教室)	R3	回	3				
	R2	回	4	4	計画通り		
	R1	回	10	9	ほぼ計画通り		
	H30	回	10	11	ほぼ計画通り		
活動指標③	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
水生生物に関する知識の普及振興 (企画展示)	R3	回	4				
	R2	回	2	0	新型コロナウイルス感染症拡大防止により一部中止したため		
	R1	回	4	4	計画通り		
	H30	回	4	6	企画展示室以外での企画展を開催したため増加		

活動指標④	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由
水生生物に関する知識の普及振興 (参加型イベント)	R3	回	3		
	R2	回	1	1	計画通り
	R1	回	5	5	計画通り
	H30	回	5	5	計画通り
活動指標⑤	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由
水生生物に関する知識の普及振興 (記念日イベント)	R3	回	2		
	R2	回	2	2	計画通り
	R1	回	2	2	計画通り
	H30	回	1	1	計画通り
活動指標⑥	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由
水生生物に関する知識の普及振興 (特別ガイドツアー)	R3	回	1		
	R2	回	1	1	計画通り
	R1	回	1	1	計画通り
	H30	回	1	1	計画通り
活動指標⑦	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由
水生生物に関する知識の普及振興 (大人向け教室)	R3	回	5		
	R2	回	2	4	1つのプログラムで複数回実施したため
	R1	回	1	1	計画通り
	H30	回	1	1	計画通り

活動指標⑧	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由
水生生物の収集、飼育、展示 (飼育展示)	R3		600種 30,000点超		
	R2		600種 30,000点超	600種 30,000点超	計画通り
	R1		600種 30,000点超	600種 30,000点超	計画通り
	H30		500種 20,000点超	600種 30,000点超	生物収集活動の増加などにより種類、展示数ともに増
活動指標⑨	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由
水生生物の収集、飼育、展示 (常設解説)	R3	種類	6		
	R2	種類	6	6	計画通り
	R1	種類	7	7	計画通り
	H30	種類	8	8	計画通り
活動指標⑩	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由
水生生物の収集、飼育、展示 (生物収集)	R3	回	36		
	R2	回	33	146	生物収集活動の強化により増加
	R1	回	52	149	生物収集活動の強化により増加
	H30	回	23	97	生物収集活動の強化により増加
活動指標⑪	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由
水生生物の収集、飼育、展示 (生物交換)	R3	回	14		
	R2	回	14	9	新型コロナウイルス感染症の影響による交換機会の減少
	R1	回	14	38	展示生物充実のため増加
	H30	回	14	13	ほぼ計画通り

**所管課の関わり及び
主要事業にかかる評価**

30周年記念事業に関する企画展示は市報へ掲載するなど、周知を行った。生物収集活動の強化を行うなど、市民への普及啓発活動に努めており、評価できる。

2. 主要事業

事業名③	施設管理に付帯する事業						
事業概要	(概要) 施設利用者に対する利便性を図るため、レストラン及び売店、自動販売機等の設置を行う。						
	(市政へどのように寄与・貢献するのか) 収益事業の一部を施設管理経費へ充当する。						
事業区分	主体区分	収支区分	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(予算)
収益事業	-	収入額	千円	60,767	60,151	39,820	41,095
活動指標①		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由	
レストラン・軽食の設置	R3	箇所	4				
	R3	箇所	4	4	4	計画通り	
	R1	箇所	4	4	4	計画通り	
	H30	箇所	3	4	4	期間限定：軽食1店増加 ※原則各週末、祝日に設置 ただし繁忙期（GW、7～9月は毎日設置）	
活動指標②		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由	
売店の設置	R3	箇所	1				
	R2	箇所	1	1	1	計画通り	
	R1	箇所	1	1	1	計画通り	
	H30	箇所	1	2	2	期間限定：1店増加 ※原則各週末、祝日に設置 ただし繁忙期（GW、7～9月は毎日設置）	
活動指標③		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由	
自動販売機等の設置	R3	箇所	17				
	R2	箇所	17	17	17	計画通り	
	R1	箇所	17	17	17	計画通り	
	H30	箇所	17	17	17	計画通り	
所管課の関わり及び 主要事業にかかる評価	施設利用者への利便性の向上を目指し、内容の充実や見直しを図ってほしい。						

3. 組織等の状況

(1) 役職員数の状況

令和3年7月1日 現在 (単位:人)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
役員数	7	9	9	9
常勤	1	1	1	1
市派遣				
市職員OB	1	1	1	1
プロパー役員				
他団体からの派遣				
非常勤	6	8	8	8
市兼任		1		
市職員OB	2	2	2	2
他団体兼任	2	5	6	6
その他	2			
職員数	55	54	52	51
常勤	28	28	28	28
市派遣				
市職員OB				
プロパー職員	27	28	28	28
他団体からの派遣	1			
非常勤	27	26	24	23
市兼任				
市職員OB	1			
他団体兼任				
その他臨時・嘱託等	26	26	24	23
見直し等の取組み	臨時職員3名増加	・安定した財団運営を行っていくための役員(理事)機能の強化のため増員。 ・女性役員を配置するため増員(0人→2人)	新型コロナウイルス感染症の影響により、臨時職員の欠員補充を実施せず2名減員	券売窓口キャッシュレス対応により、受付臨時職員1名減員

(2) 職員の状況(市派遣職員を除く。)

令和3年7月1日 現在 (単位:人)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
職員の状況	管理職	2	2	4	4
	一般職	53	52	48	47
	合計	55	54	52	51
年齢構成	20代以下	19	21	18	18
	30代	13	10	11	11
	40代	15	16	11	11
	50代	6	6	11	10
	60代以上	2	1	1	1
	合計	55	54	52	51

(3) 役員報酬・職員給与等の状況

(決算 単位：千円)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(予算)
報酬・給与等	226,450	228,672	223,918	231,797
内 市職員分	0	0	0	0
役員	4,873	5,178	5,116	5,465
常勤	4,470	4,473	4,752	4,750
内 市職員分				
非常勤	403	705	364	715
内 市職員分				
職員	221,577	223,494	218,802	226,332
常勤	166,841	169,178	169,916	171,459
内 市職員分				
非常勤	54,736	54,316	48,886	54,873
内 市職員分				
平均年収(市職員を除く。)				
常勤役員	4,470	4,473	4,752	4,750
常勤職員	6,179	6,042	6,068	6,124
見直し等の取り組み	臨時職員の賃金アップに伴い増加	ベースアップ分の増加	ベースアップ分の増加	ベースアップ分の増加

(4) 給与等の適正化の状況(市派遣職員を除く。)

現在の給与体系		今後の見直し予定	
	団体独自の給与体系		有 予定時期 年度～
●	市の給与体系を準用	●	無
	その他〔 〕		その他〔 〕

4. 財務の状況

(1) 正味財産増減計算書

(決算 単位：千円)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度
一般正味財産増減の部	経常収益	681,832	687,072	677,784
	基本財産運用益			
	特定資産運用益			
	受取会費			
	事業収益	666,039	671,873	651,916
	自主事業収益	61,540	63,878	42,297
	受託事業収益	604,499	607,995	609,619
	受取補助金等・負担金	15,774	15,196	25,866
	その他経常収益	19	3	2
	経常費用	669,143	665,341	665,202
	事業費	667,994	664,110	662,836
	公益目的事業費	632,361	629,273	636,808
	収益目的事業費	35,633	34,837	26,028
	(自主事業費)	35,633	34,837	26,028
	(受託事業費)			
	法人会計			
	管理費	1,149	1,231	2,366
	評価損益等調整前当期経常増減額	12,689	21,731	12,582
	評価損益等	▲ 4,125	▲ 4,035	▲ 2,245
	基本財産評価損益等			
特定資産評価損益等				
法人税・住民税及び事業税	▲ 4,125	▲ 4,035	▲ 2,245	
当期経常増減額	8,564	17,696	10,337	
経常外収益	2,689	11,778	0	
経常外費用	2,689	11,778	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	8,564	17,696	10,337	
一般正味財産期首残高	14,876	23,440	41,136	
一般正味財産期末残高	23,440	41,136	51,473	
指定正味財産増減の部	受取補助金等・負担金			
	その他			
	基本財産評価損益			
	特定財産評価損益			
	一般正味財産への振替額			
	当期指定正味財産増減額	0	0	0
	指定正味財産期首残高	10,000	10,000	10,000
指定正味財産期末残高	10,000	10,000	10,000	
基金増減の部	基金受入額			
	基金返還額			
	当期基金増減額	0	0	0
	基金期首残高			
	基金期末残高	0	0	0
正味財産期末残高		33,440	51,136	61,473

(参考)

(別掲)人件費	226,450	224,989	223,919
役員分	4,873	4,553	5,117
職員分	221,577	220,436	218,802

(2) 貸借対照表

		平成30年度	令和元年度	令和2年度
資産の部	資産の部合計	235,026	254,630	252,766
	流動資産	110,834	104,686	97,231
	現金預金	105,034	98,192	88,439
	未収金	4,587	5,368	7,385
	有価証券			
	その他流動資産	1,213	1,126	1,407
	固定資産	124,192	149,944	155,535
	基本財産	10,000	10,000	10,000
	特定資産	111,700	137,909	143,960
	その他固定資産	2,492	2,035	1,575
	有形固定資産	2,492	2,035	1,575
	無形固定資産			
その他投資等				
負債の部	負債の部合計	201,586	203,494	191,295
	流動負債	91,266	64,668	49,298
	短期借入金			
	その他流動負債	91,266	64,668	49,298
	固定負債	110,320	138,826	141,997
	長期借入金			
その他固定負債	110,320	138,826	141,997	
正味財産の部	正味財産の部合計	33,440	51,136	61,471
	基金	0	0	0
	(基本財産充当額)			
	(特定資産充当額)			
	指定正味財産	10,000	10,000	10,000
	うち補助金			
	(基本財産充当額)	10,000	10,000	10,000
	(特定資産充当額)			
	一般正味財産	23,440	41,136	51,471
	代替基金			
その他一般正味財産	23,440	41,136	51,471	
(基本財産充当額)				
(特定資産充当額)				
負債の部及び正味財産の部合計		235,026	254,630	252,766

(3) 市財政支出等の状況

(決算 単位：千円)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
市財政支出等の合計	620,273	623,191	635,484
補助金	15,774	15,196	25,865
負担金			
交付金			
委託料	604,499	607,995	609,619
貸付金(期中借入額)			
出資・出捐金(追加額)			
その他			
貸付金残高			
損失補償契約に係る債務残高			
損失補償限度額			
債務保証に係る債務残高			
その他財政援助の状況 (税や使用料の減免、建物の無償貸与等)			

(市財政支出等がある場合) 目的、内容、必要性、増減理由等

新潟市水族館における、適正かつ円滑に管理運営、飼育・展示の強化及び海洋河川文化の研究・普及啓発に取り組むためには、新潟市からの財政支出が必要である。

(4) 遊休財産の状況

(単位：千円)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
純資産	33,440	51,136	61,471
公益目的保有財産	▲	▲	▲
公益目的事業を行う為に必要な収益事業等その他の業務又は活動の用に供する財産	▲ 10,000	▲ 10,000	▲ 10,000
特定の財産の取得又は改良に充てるために保有する資金	▲	▲	▲
合理的に算出された必要限度額以内の特定費用準備資金	▲	▲	▲
拠出者の意思に従って、使用・保有されている財産	▲	▲	▲
遊休財産額	23,440	41,136	51,471

5. 経営改善状況（評価指標）

※ 評価基準に満たない場合は、網掛けセルに太字斜字体が表示されます。

(1) 財務の健全性

指標		平成30年度	令和元年度	令和2年度
経常損益		8,564 千円	17,696 千円	10,337 千円
自己資本比率	純資産	14.2 %	20.1 %	24.3 %
	純資産＋負債			
流動比率	流動資産	121.4 %	161.9 %	197.2 %
	流動負債			
固定長期適合率	固定資産	86.4 %	78.9 %	76.4 %
	固定負債＋純資産			
借入金依存度	借入金	0.0 %	0.0 %	0.0 %
	資産の部合計			
剰余金（欠損金）	純資産	23,440 千円	41,136 千円	51,471 千円
	－資本金（基本金）			
公益目的事業比率	公益目的事業費	94.5 %	94.6 %	95.7 %
	公益・収益目的事業費＋管理費			
遊休財産水準	公益目的事業費	26.98	15.30	12.37
	遊休財産額			
資金運用				
基本財産としての 有価証券の保有	有	→	① 運用方針を明文化し、それに従って運用している。 ② 資金運用利率は市場金利の水準を確保している。 ③ 資金運用に関する情報収集に努めている。 ④ 元本割れのリスクはない。	
	無			

(2) 団体の自立性

指標		平成30年度	令和元年度	令和2年度
市職員比率	常勤職員数（市職員）	0.0 %	0.0 %	0.0 %
	常勤職員数			
財政的依存度	市財政支出	90.6 %	89.2 %	93.8 %
	経常収益＋経常外収益			
運営費補助比率	市運営費補助金	2.3 %	2.2 %	3.8 %
	経常収益			
随意契約比率	市随意契約額	100.0 %	100.0 %	100.0 %
	市委託料			

(3) 経営の効率性

指標		平成30年度	令和元年度	令和2年度
職員1人当たり 売上高	事業収益	12,110 千円	12,442 千円	12,537 千円
	職員数			
職員1人当たり 経常利益	事業活動収支差額	156 千円	328 千円	199 千円
	職員数			
管理費比率	管理費	0.2 %	0.2 %	0.4 %
	経常費用			
職員1人当たり 管理費	管理費	21 千円	23 千円	46 千円
	職員数			
人件費比率	人件費	33.1 %	32.2 %	33.0 %
	経常収益			
役員人件費比率	役員人件費	2.2 %	2.0 %	2.3 %
	人件費			

(4) 経営の適正性

① 中長期計画の策定状況	
●	有 計画名称〔 中長期計画 〕 計画期間 令和元年度～ 令和5年度
概要・数値目標 令和1年度から令和5年度までの財団及び水族館の計画を策定	
	未策定理由 無〔 〕

② 経理の適正化の取組み	
専門家による監事・監査役就任	専門家による会計指導
●	有 就任時期 年度～ 依頼先職種〔 〕
●	有 依頼時期 28年度～ 依頼先職種〔 FUN税理士法人 〕
●	無

③ 事務処理改善の取組み	
●	有 取組内容 28年度～ 〔 各種規程・規則の整備、会計システムの更新、各種講習会の参加など 〕
	無

④ 人材育成の取組み	
●	有 取組内容 29年度～ 〔 財団の今後を担う人材（係長クラスを中心とした）向けのリーダーシップ・組織開発研修を実施 〕
	無

⑤ 情報公開に関する規定の整備状況																													
●	有 策定時期 28年度～ 規定名称〔 (公財)新潟市海洋河川文化財団 情報公開規程 〕																												
	無 未整備理由																												
	<table border="1"> <tr> <td rowspan="9" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: mixed;">団体ホームページ掲載</td> <td>●</td> <td>定款等</td> <td>28年度～</td> </tr> <tr> <td>●</td> <td>事業内容</td> <td>28年度～</td> </tr> <tr> <td>●</td> <td>役員名簿</td> <td>28年度～</td> </tr> <tr> <td>●</td> <td>役員報酬</td> <td>28年度～</td> </tr> <tr> <td>●</td> <td>事業報告</td> <td>28年度～</td> </tr> <tr> <td>●</td> <td>正味財産増減計算書</td> <td>28年度～</td> </tr> <tr> <td>●</td> <td>貸借対照表</td> <td>28年度～</td> </tr> <tr> <td>●</td> <td>事業計画書</td> <td>28年度～</td> </tr> <tr> <td>●</td> <td>予算概要</td> <td>28年度～</td> </tr> </table>	団体ホームページ掲載	●	定款等	28年度～	●	事業内容	28年度～	●	役員名簿	28年度～	●	役員報酬	28年度～	●	事業報告	28年度～	●	正味財産増減計算書	28年度～	●	貸借対照表	28年度～	●	事業計画書	28年度～	●	予算概要	28年度～
団体ホームページ掲載	●		定款等	28年度～																									
	●		事業内容	28年度～																									
	●		役員名簿	28年度～																									
	●		役員報酬	28年度～																									
	●		事業報告	28年度～																									
	●		正味財産増減計算書	28年度～																									
	●		貸借対照表	28年度～																									
	●		事業計画書	28年度～																									
	●	予算概要	28年度～																										

改善対応区分
A:改善対応済(引き続き継続して実施するものも含む)
B:改善の取組の効果が始まっている
C:改善の取組に着手
D:改善の取組に向けて検討中
E:今は実施せず今後の課題とする

6. 経営改善状況（個別の取組み）

(1) 前年度までの評価における【改善指示事項】の改善状況

改善指示事項		海洋河川文化の普及啓発だけでなく、観光振興を通じた経済的な効果の観点からも新潟市水族館の特色や魅力について、市内外へ積極的にアピールしていく必要がある。								
改善のために取り組んだ内容		「自社メディア（HPやチラシ等）」「ソーシャルメディア」「プレスリリース」「有料広告」を柱とし、それぞれの特性を活かしながら効果的・効率的に行った。また、30周年記念事業では、関連した企画展示の内容を変えながら4期に分けて開催し、変化のある展示を行った。								
取組みによる成果		新型コロナウイルス感染症拡大を考慮し、広報及び広告宣伝は県内を中心に行った。県外からの来館が難しい中で、市民の所有者が多い年間パスポートの利用割合が増加した。								
改善・対応区分		A	●	B	C	D	E			
改善に向けた取組み 評価指標	実施事項	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
	ホームページアクセス件数 20万件以上	計画	—		ホームページアクセス件数20万件以上	ホームページアクセス前年度比5%以上		ホームページアクセス前年度比5%以上		
		実績	約71万件		約60万件					
	進捗状況	【令和2年度までの達成状況及び今後の見込み】 臨時休館（4/21-5/10）中、館内生物の動画配信を行うなど、常にタイムリーな情報発信を行ったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、アクセス数は前年度を下回った。感染拡大が収束するとともに来館者数及びアクセス数も回復すると思われる。								
	今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 積極的な広報及び広告宣伝活動、タイムリーな情報発信を行うためホームページ更新頻度を増やす								
	課題への対応	【今後の課題への対応】 蓄積してきた豊富な知見に基づき、創意工夫を重ね、展示生物の充実や、入館者に対する正確かつタイムリーな情報提供に努めていきたい。								
	年間パスポート購入者9,800人以上	計画	—		年間パスポート購入者9,800人以上	年間パスポート購入者前年比5%以上		年間パスポート購入者前年比5%以上		
		実績	13,905人		13,482人					
		進捗状況	【令和2年度までの達成状況及び今後の見込み】 新型コロナウイルス感染症拡大の影響があったが、積極的なPRやキャンペーンを実施し前年度から大きな減少はなかった。感染拡大が収束するとともに購入者数は増加すると思われる。							
		今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 継続購入者及び新規購入者の増加							
課題への対応	【今後の課題への対応】 常に新鮮味のある展示を心掛け、年間パスポート会員様にも十分満足してもらえるような魅力あふれる展示を行っていきたい。									

改善指示事項		普及啓発活動を含む各種事業について、事後的な評価が可能な成果指標を設定することが必要である。				
改善のために取り組んだ内容		事業実施毎に成果指標を数値化できるような設問を盛り込み、各事業別に客観的な評価やニーズの把握に努めた。				
取り組みによる成果		プログラム参加者の満足度・理解度を把握することが出来た。				
改善・対応区分		A	● B	C	D	E
改善に向けた取り組み 評価指標	実施事項	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	プログラム参加者の満足度70%以上	計画	—	参加者満足度70%以上	参加者満足度前年比2%以上向上	参加者満足度前年比2%以上向上
		実績	97.20%	99.30%		
	進捗状況	【令和2年度までの達成状況及び今後の見込み】 啓発事業実施毎にアンケート調査を実施し「とてもおもしろい」「またぜひ参加したい」との回答を多くいただき、満足度が高かった。今後も継続して実施するため、高い満足度が期待できる。				
	今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 満足度・理解度の維持				
	課題への対応	【今後の課題への対応】 アンケート調査の結果を分析により、事業の質的な向上に努め、高い満足度・理解度を維持する。				
	改善事項の検証	計画	—	改善事項を反映	改善事項を反映	改善事項を反映
		実績	改善事項を反映	改善事項を反映		
		進捗状況	【令和2年度までの達成状況及び今後の見込み】 啓発事業実施毎にアンケート調査の検証及び事業の振り返りを行った。改善箇所について次回実施に反映した。繰り返し行うことで満足度向上に繋がる。			
		今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 啓発事業実施毎にアンケート調査を実施し、参加者側のニーズの把握			
課題への対応		【今後の課題への対応】 アンケート調査による改善事項の検証のほか、参加者の様子を直接観察し、不備な点を改善する。				

<p>改善対応区分</p> <p>A: 改善対応済(引き続き継続して実施するものも含む)</p> <p>B: 改善の取組の効果が始まっている</p> <p>C: 改善の取組に着手</p> <p>D: 改善の取組に向けて検討中</p> <p>E: 今は実施せず今後の課題とする</p>

(2) 【その他改善を要する事項】の改善状況

今後改善を要する事項		4年後（令和6年）の新潟市水族館の指定管理者へ再指定				
改善のために取り組んだ内容		豊富な経験・知識・技術を持った職員による適切な管理運営に心掛け、お客様の安心・安全及びお客様サービスの向上に努めた。併せて、次期指定に向け情報収集を行った。				
取り組みによる成果		新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、入館者数は大きく減少したものの、年間パスポート利用者は減少幅は小さかった。また、アンケート調査による「満足度」は、90%以上で高かった。				
改善・対応区分		A	B	● C	D	E
改善に向けた取り組み 評価指標	実施事項	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	計画	—	水族館の適正な管理運営	水族館の適正な管理運営	水族館の適正な管理運営	
	実績	指定管理の再指定	水族館の適正な管理運営			
	進捗状況	【令和2年度までの達成状況及び今後の見込み】 充実した施設を活用し、魅力溢れる常設展示を行った。その他各種企画展示、特別プログラム等を実施し、お客様サービスに努めた。また、新型コロナウイルス対策を十分に行い、安心して来館できるよう努めた。今後も継続して適切な管理運営を心掛ける。				
	今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 次期指定管理に向けた水族館の適正な管理運営及び情報収集				
	課題への対応	【今後の課題への対応】 お客様の安心・安全を第一に図るとともにお客様サービスを充実させ、新型コロナウイルス収束後の入館者数の増加・維持に努める。また、次期指定管理に向け館内の体制を整える。				

7. 評価の結果

【団体の評価コメント】

財務の健全性	指定管理料は非精算であるため、余剰金は施設の安心・安全の維持、長寿命化を図るための予防的修繕の準備資金として積み立てを行う。現状、積立金から毎年修繕工事を行っている。また、運営補助金は年度末精算であり、余剰金及び欠損金も発生せず、財務は健全に保たれている。
団体の自立性	2016年に財団設立、2017年に公益財団の認定を受けた。新潟市水族館の管理は、2017年から（公財）新潟市開発公社との2ヶ年の共同事業体での指定を経て、2019年度から単独で5年間の指定管理期間をスタートさせている。財政面では毎期、黒字決算となり自立性の高い財団へと成長し続けている。
経営の効率性・適正性	各種規程の策定、講習会への参加、外部の専門家（顧問弁護士、公認会計士、社会保険労務士）の指導・助言に基づき、効率性及び適正性は十分保たれている。
その他	
総括的な所見	
財団の業務状況も良好で財政面及び水族館の管理運営面ともに特段の問題がない。また、中長期計画も予定どおり成果（結果）は出ているため評価できる。	

【新たに改善を要する事項】 ※「6. 経営改善状況」に記載のもの以外で改善を要する事項を記載

実施事項		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
評価指標	計画	事業の定着を図る	事業のさらなる定着を図る	事業の充実と発展を図る	事業の充実と発展を図る
	実績				
	今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 水族館の取り組みに対する認知度の向上			
	課題への対応	【今後の課題への対応】 総合学習の受入れを積極的に行い、教育普及活動の充実を図る。また、アウトリーチ事業の一環として教育機関などへ講師派遣を行う。			

【団体による総括的な評価】

水族館運営については、専門的な技能を持った職員を配置し、水族館の社会的使命を果たすとともに、ハンズオン展示や教育効果の高いプログラムを数多く実施している。来館者が快適な時間を過ごせる場を提供するとともに、効率的で円滑な運営に努めている。また、毎月実施するお客様アンケート調査でも展示生物や解説プログラムは高評価を受けている。 財団運営については、毎年黒字決算となっており、自立性の高い財団へと成長し続けていると評価している。

【所管課による評価】

新型コロナウイルスの影響により来館者数の増加を見込むことが難しい状況であるため、新潟ならではの独自性を活かした展示などによる充実化を図り、リピーターの確保に努めて欲しい。また、普及啓発活動を含む各種事業についても、参加者の満足度を把握した結果をその後の活動に活かし、よりよい活動となるよう努めて欲しい。
